

大好きな音楽とともに

木下航志

Thank you, Music  
(かんしゃしているよ  
おんがく)

This is a Magic  
(これは まほうさ)

すべてを変える

Thank you, Music

This is a Magic

明日は変わる

「Music」  
アルバム「Koshi」より  
( )は執筆者訳  
JASRAC 出1216254-201

一台のピアノと気持ちのこもった歌声で観客をひきつけ

ている歌手がいます。その人の名前は木下航志さんです。鹿

児島で生まれ育ち、日本だけでなく世界でも活やくしている

歌手です。実は、航志さんは生まれてからまもなく目が見え



【木下航志さん】

(株式会社よしもとクリ  
エイティブ・エージェン  
シー)

なくなりました。でも、来ているお客さんは、そんなことは関係なく、航志さんのピアノや歌を楽しんでいます。航志さんもそうです。会場は、いつも「歌を楽しむ」、そういうふうに囲気になっています。

航志さんは、一九八九年（平成元年）、鹿児島県川内市（現在の薩摩川内市）で生まれました。音楽との出会いは、二さいのとき、お母さんが、買ってくれたおもちゃのピアノがきっかけでした。そのころの様子についてお母さんは、

「チューリップをいきなりひき始めたのでびっくりしました。ただ、きいていただけなのに。そのほかにも、曲をきいて指

---

【関連年表】

一九八九年 誕生

一九九六年

鹿児島盲学校入学

一九九七年

八さいでストリートラ

イブ

二〇〇二年

ニューヨークでライブ

二〇〇四年

アテネパラリンピック

NHKテーマソング担当

二〇〇六年

デビューアルバム「絆」

を發表

が自然と動き、そのとおりにピアノをひいたので、ますます  
おどろきました。航志は、いろいろな曲がひけるようになり、  
本当にうれしそうでした。」

と教えてくれました。小さいころからピアノや歌を楽しんで  
いたのですね。

航志さんは、鹿児島市※盲学校※に入学すると、ますます音楽  
を楽しみたいという気持ちが強くなってきました。そして、  
八さいのとき、鹿児島市の天文館のアーケードで、※ストリ  
ートライブを行いました。たくさんの方の前で※キーボード  
をひきながら、一人で歌を歌うのです。まだ、小学校二年生



※盲学校

視覚障害のある人の  
ための学校

※ストリートライブ

町で、通りがかりの  
人たちに向かって、楽器  
をひいたり歌を歌ったり  
すること。

※キーボード

電子式のけん盤楽器

でした。最初は、きん張ちようしてあまり声が出ません。「大好きな音楽のはずなのに…」勇氣ゆうきをふりしぼって声を出しました。すると町の人たちは、だんだん拍手はくしゅを送り始めました。「そ  
うだ、たくさんの人が、ぼくの音楽をきいて、喜よろこんでいるんだ。」そう思うと、航志さんの歌声はどんどん力強くなつていきました。

やがて、九州きゆうしゅうのいろいろな所ところでストリートライブをするようになります。航志さんの楽しんでるピアノと歌声は、たくさんの人たちに感動かんどうを与あたえます。また、航志さんも大きな拍手と声せいえんをもらうと、「もつといろんな音楽をやりた



【インタビュー①】  
—— いろいろから曲きよくをつくりはじめたのですか。  
十四さいのときです。  
—— いつもパワフルな歌声ですが、どうしたらその声がでるのですか。  
よく寝ねることです。体が元気になります。だからライブの前は早く寝ます。

い、もつと歌いたい。もつとたくさんの人に出会いたい。」  
という気持ちが生まれてきました。その後、世界にはばたい  
てみたいと思い、十三さいのときには、ニューヨークでライ  
ブを開きました。また、十四さいのときには、アテネ※パラ  
リンピックのNHK公式テーマソングを作曲しました。今  
では、日本各地でライブを開いて、お客さんの心をなごま  
せたり、元気づけたりしています。

小さいころからたくさんの人に出会い、仲間に支えられて  
きた航志さんが、今大切にしている言葉があります。それは、  
「感謝」です。「今こうやって楽しみながら歌を歌えるのは、周

【ストリートライブをし  
ている十一歳の航志さん】



（株式会社よしもとクリ  
エイティブ・エージェン  
シー）

※。パラリンピック  
四年に一度開かれる障  
害のある人が参加する国  
際スポーツ大会

りのスタッフやいっしょに演奏する人、見に来ているお客さんのおかげだ。」そう思って、いつもステージに立っているそうです。

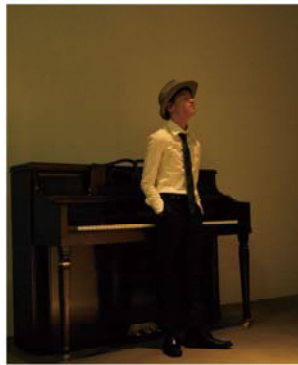
音楽という大好きなことに出会い、夢を追いかけ続けている航志さん。最後に、そんな航志さんから鹿児島の子どもたちへ送られたメッセージをしようかいたします。

「夢がある人、夢をもてない人、なやみがある人、全てのみなさんへ。まず、自分のやりたいことを見つけてください。きつと出会うはずです。そして、あきらめずに続けてください。好きになって続けてください。ぼくのように。」

## 【インタビュー②】

—— これからの夢を教えてください。

これからも大好きな歌を歌っていきたいです。背のびをせず、こつこつ地道に続けていきたいです。



## 【考えてみよう】

あなたにとってやりたいことはどんなことですか。

好きなことはどんなことですか。

続けていることがありますか。